

HIPACS上水道/下水道テレメータシステム

HIPACS **HICALIC** system

デジタルコネクティブテレメータをラインナップ
上下水道・農業用水設備の遠隔監視に最適なテレメータシステム



ハイキャリックD

ハイキャリックN

ハイキャリックV



ハイキャリックシリーズであなたの常識が変わる

概要

ハイキャリックテレメータシリーズは、近年のIT技術の進歩を反映させたテレメータをラインナップした、上下水道・農業用水設備の遠隔監視業務に最適なテレメータシステムです。

従来の専用回線テレメータに加え、ブロードバンド回線を利用したネットワークテレメータをラインナップしています。また、公衆回線テレメータでは従来の固定電話回線だけではなく、携帯電話回線を利用した無線監視にも対応しています。

通信回線の選択の自由度を広げることで、用途に併せて様々な通信回線を組み合わせ使用することができ、特に市町村合併後の統合監視業務に最適なテレメータシステムを提供します。

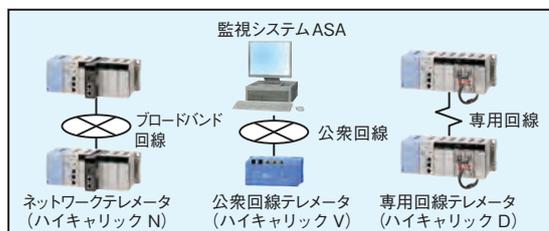
ハイキャリックテレメータシリーズ

シリーズ概要

豊富なラインナップ 様々な通信回線に対応

ハイキャリックテレメータシリーズは豊富なラインナップにより、ブロードバンド回線、公衆回線、専用回線などの様々な通信回線に対応することができます。

- ・ネットワークテレメータ (ハイキャリック N)
- ・公衆回線テレメータ (ハイキャリック V)
- ・専用回線テレメータ (ハイキャリック D)



ネットワークテレメータ

ハイキャリック N

遠くの監視にハイキャリックN 距離を気にせず連続監視

「遠距離監視は通信費が高い」という常識が変わります。ハイキャリックNならブロードバンド回線を利用し、距離によらず通信費を大幅に低減できます。(注1)

注1. セキュリティ確保のため、ハイキャリックN間の通信回線にはVPN回線を使用します。

ハイキャリックN親局



ブロードバンド回線



ハイキャリックN子局



ハイキャリックN



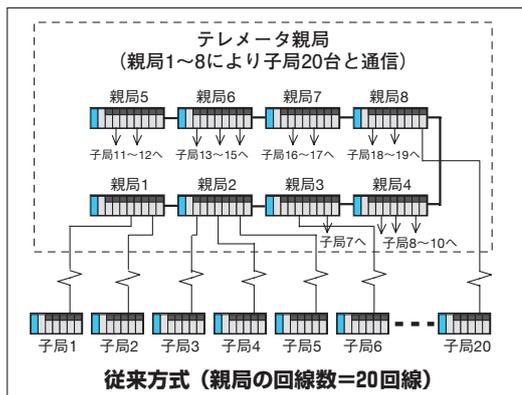
利用可能な回線

一回線で20機場と通信 省スペースと汎用性を両立

専用回線テレメータでは、通信する子局と同数の通信回線を引く必要がありました。ハイキャリックNは1本の回線で複数機場と通信することが可能なので、親局では1本の通信回線で最大20箇所の子局と、子局では4箇所の子局と通信が可能です。

回線削減により機器の設置スペースを削減し、省スペース化を図ることができます。

また、親局の2重化システムや親局を複数の拠点に設置するシステムなど、汎用性が高く柔軟な監視システムを構築することができます。



公衆回線テレメータ

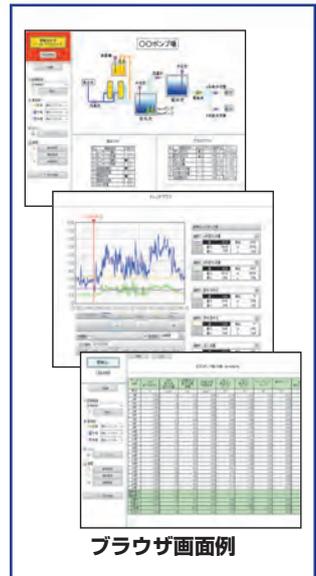
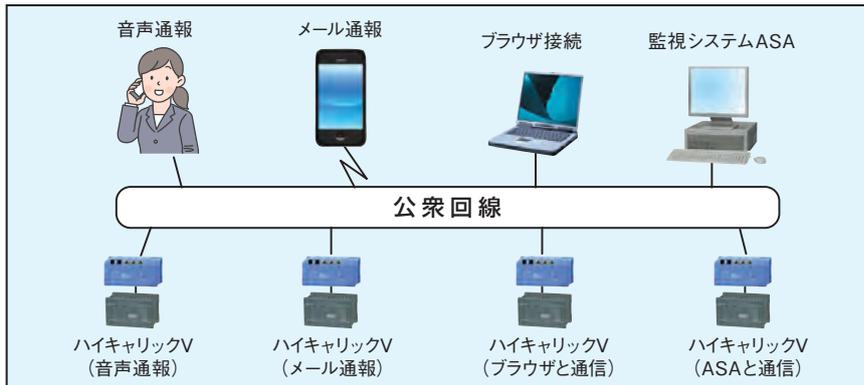
ハイキャリク V

親局なしでも現場が見える 用途に応じてお手軽監視

ハイキャリクVは多様な用途に適用できます。単体では、通報装置として使用できます。

パソコンや監視装置と組み合わせて、監視システムを構築できます。

- ① 設備の警報を音声、メールなどを使って通報します。
- ② パソコンのブラウザと通信して設備の状態を表示します。
- ③ 監視システム ASA と組み合わせた監視ができます。
- ④ 設備の停電を通報します。

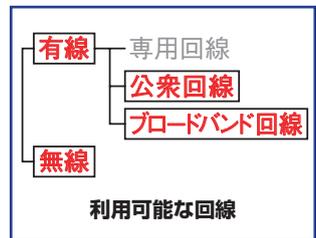
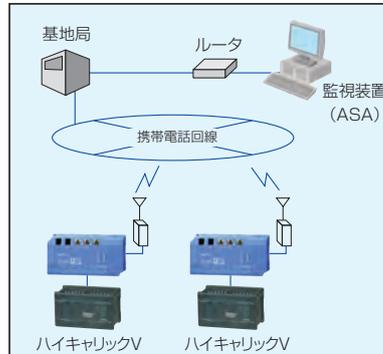


携帯電話回線を利用して無線監視

公衆回線の代わりに携帯電話回線を利用して、監視装置 ASA との通信とメール通報を行うことが可能です。(注2)

現場の通信回線が無線になるため、固定回線を引けないような場所でも携帯電話が通じる機場であれば監視を行うことが可能になります。(注3)

注2. 携帯電話回線対応機種+外部通信装置が必要です。
注3. 監視装置 ASA の通信回線には VPN 回線を使用します。



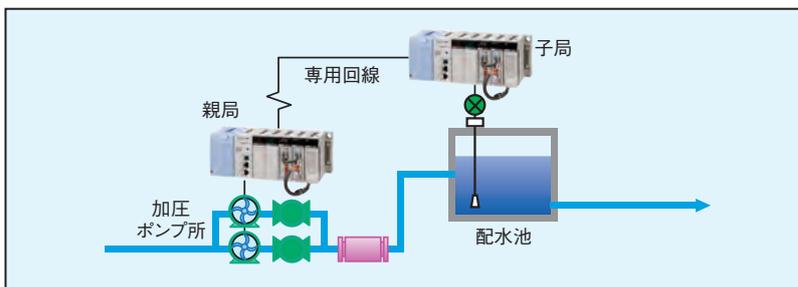
専用回線テレメータ

ハイキャリク D

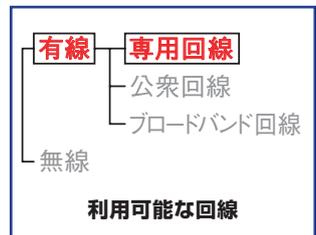
小さいボディに大きな実力 シーケンス機能を持ったテレメータ

モデム一体型のコンパクト設計です。

シーケンス制御機能による柔軟なシステム構築が可能です。



※200bps以外のモデムは、別置き式となります。



仕様

項目	ネットワークテレメータ	公衆回線テレメータ			専用回線テレメータ	
名称	ハイキャリクN	ハイキャリクV Web13	ハイキャリクV Web32/Web48	ハイキャリクV Web+	ハイキャリクD	
回線	ブロードバンド回線	公衆回線 ブロードバンド回線 携帯電話回線		公衆回線 ブロードバンド回線	アナログ専用回線 (帯域品目 3.4 kHz) (符号品目 50 bps)	
対向方式	最大 親局4：子局20	最大 親局1：子局100 (警報通報、ポーリング時に接続)			最大 親局1：子局10	
親局の構成	ハイキャリクN 親局	監視装置			ハイキャリクD 親局	
通信インターフェイス	イーサネット×2	イーサネット×1、RS232C×2 (公衆回線機は、内蔵モデム×1)			RS232C×1 (モデム接続用)	
通信速度	イーサネット：10、100Mbps	イーサネット：10、100Mbps、RS232C：4,800～115,200bps 内蔵モデム：2,400～33,600bps			モデム速度：50、200、 2,400、9,600bps	
伝送量 (子局最大)	デジタル	224点	13点	32点 (Web32) 48点 (Web48)	224点	
	アナログ	64量	2量	8量 (Web32) 16量 (Web48)	64量	
機能	監視	○ (常時監視)	○ (呼び出してデータ通信)			○ (常時監視)
	警報	○ (常時接続)	○ (異常時自動通報)			○ (常時接続)
	制御	○ [※]	なし			○
	履歴データ	メモリ内保存 日報：32日 月報：24ヶ月、年報：2年 トレンドデータ：32日	メモリ内保存 日報：32日 (10日) 月報：24ヶ月 (12ヶ月)、年報：2年 トレンドデータ：32日 (10日) *括弧内は公衆回線機仕様			なし
	親局機能	子局数20局	親局機能なし			子局数10局
	音声通報	なし	○ (公衆回線接続時)			なし
	ブラウザ接続	○	○			なし
	シーケンス機能	○	なし			○
	メール通報	○	○			なし
	停電通報	UPS設置要	公衆回線、携帯電話回線：UPS不要 (内蔵/バッテリー利用) その他の回線：UPS設置要			UPS設置要
メモリ保護	フラッシュメモリ	フラッシュメモリ			内蔵バッテリー	
音声伝送機能	なし	なし			○ (200 bpsのみ)	
質量	約 2,300g (構成による)	通報装置：約 780g I/Oユニット：約 600g (Web13) 約 1,600g (Web32、Web48) 約 2,300g (Web+ 構成による)			約 2,300g (構成による)	
消費電力	約 100VA (構成による)	約 80VA	約 110VA (構成による)		約 100VA (構成による)	
使用環境		温度 0～50℃ 湿度 90%RH 以下 (結露なきこと)				
消耗品	リチウム電池	通報装置：ニッケル水素電池、冷却 FAN I/Oユニット：リチウム電池			リチウム電池	

ハイバックス/HIPACSは日立製作所の登録商標です。HIPACSは、Hitachi Pump Automatic Control Systemの略称です。イーサネットは米国 Xerox Corp の登録商標です。その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

注) 回線の種類や回線の状態により、制御の反応が遅くなる場合があります。制御機能をご検討の際は、事前にご相談ください。

株式会社 日立産機システム

詳細はWebへ

<https://www.hitachi-ies.co.jp>

日立産機 お問い合わせ



●このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

HIP-011P 2025.05

Printed in Japan(TS)